【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年3月10日(2025.3.10)

【公開番号】特開2024-159847(P2024-159847A)
【公開日】令和6年11月8日(2024.11.8)
【年通号数】公開公報(特許)2024-209
【出願番号】特願2024-138968(P2024-138968)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月28日(2025.2.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球を発射可能な発射手段と、
その発射手段によって所定の発射強度で発射された遊技球が到達可能な所定領域を通過した遊技球が入球可能な位置に設けられた第１入球手段と、
第１流路が形成される第１状態と、当該第１流路が形成されない第２状態とに変位可能な変位手段と、を有した遊技機において、
前記第１入球手段は、前記第１流路に到達した遊技球のうち所定流路を流下した遊技球が入球する位置に設けられ、
前記遊技機は、
前記第１流路に到達した遊技球であって前記所定流路を流下しない遊技球が到達し得る位置に設けられており、前記第１流路とは異なる第２流路または前記第１流路とも前記第２流路とも異なる第３流路へと遊技球を振り分けることが可能な振分手段と、
前記第２流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第１入球手段とは異なる第２入球手段と、
前記第３流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第１入球手段及び前記第２入球手段とは異なる第３入球手段と、を備え、
所定の実行条件が成立した場合に前記変位手段が前記第２状態から前記第１状態へと変位され得るように構成され、
遊技状態として、第１遊技状態と、その第１遊技状態よりも前記所定領域を通過した遊技球が前記第１流路に到達し易い第２遊技状態と、を少なくとも有し、
前記第２遊技状態において、少なくとも所定要素に関する値が特定値に更新されたことで成立し得る所定の終了条件が成立した場合に前記第１遊技状態となり得るように構成され、
前記第１入球手段または前記第２入球手段に遊技球が入球した場合に、当該入球した入球手段に対応した同一価値または異なる価値の特典が付与され得るように構成され、
前記第３入球手段に遊技球が入球した場合には前記特典が付与されることがないように構成され、

前記第１入球手段と、前記第２入球手段とのうち、一方の入球手段への遊技球の入球に応じて前記所定要素に関する値が更新され得るように構成され、他方の入球手段への遊技球の入球では前記所定要素に関する値が更新されることがないように構成され、
少なくとも前記第２遊技状態のうち特定条件が成立している状況下では、前記一方の入球手段へと遊技球が入球した場合に当該入球に応じて前記所定要素に関する値が更新されることが無く前記特典が付与され得るように構成され、
前記発射手段によって前記所定の発射強度よりも弱い発射強度である特定の発射強度で発射された遊技球が流下可能な特定流路を有し、
前記特定流路を流下した遊技球は、少なくとも前記第２入球手段へと入球し得ないように構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
この目的を達成するために本発明の遊技機は、遊技球を発射可能な発射手段と、その発射手段によって所定の発射強度で発射された遊技球が到達可能な所定領域を通過した遊技球が入球可能な位置に設けられた第１入球手段と、第１流路が形成される第１状態と、当該第１流路が形成されない第２状態とに変位可能な変位手段と、を有し、前記第１入球手段は、前記第１流路に到達した遊技球のうち所定流路を流下した遊技球が入球する位置に設けられ、前記遊技機は、前記第１流路に到達した遊技球であって前記所定流路を流下しない遊技球が到達し得る位置に設けられており、前記第１流路とは異なる第２流路または前記第１流路とも前記第２流路とも異なる第３流路へと遊技球を振り分けることが可能な振分手段と、前記第２流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第１入球手段とは異なる第２入球手段と、前記第３流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第１入球手段及び前記第２入球手段とは異なる第３入球手段と、を備え、所定の実行条件が成立した場合に前記変位手段が前記第２状態から前記第１状態へと変位され得るように構成され、遊技状態として、第１遊技状態と、その第１遊技状態よりも前記所定領域を通過した遊技球が前記第１流路に到達し易い第２遊技状態と、を少なくとも有し、前記第２遊技状態において、少なくとも所定要素に関する値が特定値に更新されたことで成立し得る所定の終了条件が成立した場合に前記第１遊技状態となり得るように構成され、前記第１入球手段または前記第２入球手段に遊技球が入球した場合に、当該入球した入球手段に対応した同一価値または異なる価値の特典が付与され得るように構成され、前記第３入球手段に遊技球が入球した場合には前記特典が付与されることがないように構成され、前記第１入球手段と、前記第２入球手段とのうち、一方の入球手段への遊技球の入球に応じて前記所定要素に関する値が更新され得るように構成され、他方の入球手段への遊技球の入球では前記所定要素に関する値が更新されることがないように構成され、少なくとも前記第２遊技状態のうち特定条件が成立している状況下では、前記一方の入球手段へと遊技球が入球した場合に当該入球に応じて前記所定要素に関する値が更新されることが無く前記特典が付与され得るように構成され、前記発射手段によって前記所定の発射強度よりも弱い発射強度である特定の発射強度で発射された遊技球が流下可能な特定流路を有し、前記特定流路を流下した遊技球は、少なくとも前記第２入球手段へと入球し得ないように構成されている。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

本発明の遊技機によれば、遊技球を発射可能な発射手段と、その発射手段によって所定の発射強度で発射された遊技球が到達可能な所定領域を通過した遊技球が入球可能な位置に設けられた第１入球手段と、第１流路が形成される第１状態と、当該第１流路が形成されない第２状態とに変位可能な変位手段と、を有し、前記第１入球手段は、前記第１流路に到達した遊技球のうち所定流路を流下した遊技球が入球する位置に設けられ、前記遊技機は、前記第１流路に到達した遊技球であって前記所定流路を流下しない遊技球が到達し得る位置に設けられており、前記第１流路とは異なる第２流路または前記第１流路とも前記第２流路とも異なる第３流路へと遊技球を振り分けることが可能な振分手段と、前記第２流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第１入球手段とは異なる第２入球手段と、前記第３流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第１入球手段及び前記第２入球手段とは異なる第３入球手段と、を備え、所定の実行条件が成立した場合に前記変位手段が前記第２状態から前記第１状態へと変位され得るように構成され、遊技状態として、第１遊技状態と、その第１遊技状態よりも前記所定領域を通過した遊技球が前記第１流路に到達し易い第２遊技状態と、を少なくとも有し、前記第２遊技状態において、少なくとも所定要素に関する値が特定値に更新されたことで成立し得る所定の終了条件が成立した場合に前記第１遊技状態となり得るように構成され、前記第１入球手段または前記第２入球手段に遊技球が入球した場合に、当該入球した入球手段に対応した同一価値または異なる価値の特典が付与され得るように構成され、前記第３入球手段に遊技球が入球した場合には前記特典が付与されることがないように構成され、前記第１入球手段と、前記第２入球手段とのうち、一方の入球手段への遊技球の入球に応じて前記所定要素に関する値が更新され得るように構成され、他方の入球手段への遊技球の入球では前記所定要素に関する値が更新されることがないように構成され、少なくとも前記第２遊技状態のうち特定条件が成立している状況下では、前記一方の入球手段へと遊技球が入球した場合に当該入球に応じて前記所定要素に関する値が更新されることが無く前記特典が付与され得るように構成され、前記発射手段によって前記所定の発射強度よりも弱い発射強度である特定の発射強度で発射された遊技球が流下可能な特定流路を有し、前記特定流路を流下した遊技球は、少なくとも前記第２入球手段へと入球し得ないように構成されている。